

高槻名誉市民を

21号

語り継ぐ会会報

平成28年1月1日

明けましておめでとうございます。今年で我也会3年目を迎え試練の年と思っております。こんな時こそ原点である市民憲章の実現、「誇りを持ち品格のある市民風土の構築」を認識すべきだと思います。特に今年は子供たちに対し「おっちゃんこの高槻に住んでてな～、こんな人がいるって知って、ビックリして嬉しかったん。みんなの先輩にこんなすごい人がいるねんで～。伝えたかったん」の思いです。本年もよろしくお願ひいたします。

■12/21 勉強会で「高碓翁の足跡を訪ねて」で柱本を探索

当日勉強会は柱本公民館で岩田さん(高碓翁のお姉さんのお孫)さんの話で始まった。出席は会員の皆様と東洋製罐社史編纂チームの方が東京から、そして、地元の世話役の方々であった。



興楽時



法光寺

悲母観音では翁の母を想う気持ちに感動。翁の原点であろう。野口英世の母の話にも……。

地元においては決して目立たないように援助してたとのこと。梵鐘もそのひとつである。



高碓家墓



生家高碓家

高碓家の墓、細川家の家臣であった、現在は24代目である。ルーツを。

岩田さんの翁との選挙の話、淀川での話他。

翁の生家。堤防拡張時に移転、そのときの建物ものも残っている。



三島鴨神社



くらわんか舟碑

昭和38年に再建、翁の復活記念歌碑が残る。

くらわんか舟の発祥の地、江戸時代の風土が現在にも影響か。

今回初めてのフィールドワークであった。現地での高碓翁の話は書物からの吸収よりもはるかに内容のあるものであった。今年は雲雀丘の高碓記念館・飛驒の荘川桜の見学を行う予定である。

■12/17 東洋製罐発祥の地を訪ねる。

東洋製罐(株)OBのメンバーと東洋製罐(株)発祥の地を尋ねる。場所はJR野田駅から10分ほどで大阪市北区草開町(現大阪市福島区)である。当時千坪の土地に三百坪の建物があった古い学校を二万円で購入、大正6年(1917)6月に東洋製罐が発足し本社と工場を作った。しかし現在はマンションが建てられており面影さえもない。残っているのは「街の記憶のモニュメント」として数点の製缶の機械部品が飾られている。時代の流れであろう。「古きものは古きが故に 尊い」。



平成27年活動報告

1月	1日 1日	会報:9号発行 ブログ開設
2月	1日 15日 16日 19日	会報:10号発行 講演:『礒村弥右衛門翁』 講演:『高碓達之助』 講演:『高碓辰之助の生涯』
3月	1日 26日	会報:11号発行 トークリレー:「高槻のええとこ」
4月	1日 1日 13日 27日	会報:12号発行 「私たちの町高槻・大阪」掲載 考える会—礒村弥右衛門編① 考える会—礒村弥右衛門編②
5月	1日 11日 25日	会報:13号発行 考える会—礒村弥右衛門編③ 考える会—礒村弥右衛門編④
6月	1日 8日 22日 25日	会報:14号発行 考える会—礒村弥右衛門編⑤ 考える会—礒村弥右衛門編⑥ トークリレー:「高槻でも……」
7月	1日 13日 20日	会報:15号発行 考える会—高碓達之助特別講演 考える会—高碓達之助編②
8月	1日 10日 24日	会報:16号発行 考える会—高碓達之助編③ 考える会—高碓達之助編④
9月	1日 12日 14日 28日	会報:17号発行 たかつき NPO 協働フェスタ参加 考える会—高碓達之助編⑤ 考える会—高碓達之助編⑥
10月	1日 12日 15日 19日 26日	会報:18号発行 勉強会①—高碓達之助 高槻7中訪問 茨高120周年記念見学 勉強会②—高碓達之助
11月	1日 2日 4日 16日 21日	会報:19号発行 勉強会③—高碓達之助 講演『こんなすごい人いてまっせ』 勉強会④—高碓達之助 「竹の内コミュニティまつり」参加
12月	1日 7日 17日 21日	会報:20号発行 勉強会⑤—高碓達之助 東洋製罐発祥の地を訪問 勉強会⑥—「高碓翁の足跡」

発行:高槻名誉市民を語り継ぐ会
<http://blog.livedoor.jp/takatsukimeiyō/>
<https://www.facebook.com/groups/167866516706202/>



*裏面に高碓達之助講演第五、六回の概要を掲載しています。高槻市マスコットキャラクター『はにたん』